

沖縄県立総合教育センター 新型コロナウイルス感染症等予防マニュアル

参加者には、開催通知、HP等で、マスク着用による来場を周知するとともに、自宅や職場で、「健康状態申告書」に記載されている事項について、確認した上で参加するよう徹底し、検温をされてない方については、参加を断ることがあります。

1. 入室時の流れ

① 健康状態申告書の提出 ⇒ ② 施設利用上の留意事項配布 ⇒ ③ 手洗い(消毒) ⇒ ④入室

- ① **健康状態申告書(様式1)の提出**： 体調をチェックし、徹底した入室管理を行う。(主管班で保管)
※1：既往症(例：咳やくしゃみを伴う喘息、花粉症等)の場合は入室を認める。
- ② **施設使用上の留意事項配布**： 参加者に留意事項の徹底をお願いする。
- ③ **手洗い(消毒)**： 受付に設置したアルコール手指消毒液や液体石けんによる手洗いを徹底する。
- ④ **入室**： 以上③までを行った者は、入室を許可する。
※ 受付では、参加者の間隔(1m、できれば2m)に留意する。

2. 主催者による適切な環境管理

- ・入室時に手指消毒を徹底する。
- ・換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運用・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を行う。
- ・人を密集させない環境(1m、できれば2m)を確保するため、会場に入る人数を会議室の定員の半数程度(100人が定員の会議室では、50名程度)とするなど少なく定め、入退室に時間差を設けるなど人が密集しないよう工夫する。
- ・大きな声を発生させない環境づくりを行う。
- ・共有物の管理又は消毒の徹底と参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的(1~2時間に1度程度)に行う。
- ・入室時・退室時の出入口を分けるなど、人と人とが交錯する機会を極力減らすよう配慮する。

3. 飲食関連

- ・参加者の間隔(1m、できれば2m)を空け、向かい合わせにならない、極力会話をしないなど十分な対策を行うこと。

4. 会場管理

- ・席を一席あけるなど、参加者の距離(1m、できれば2m)を確保する。

5. ゴミ箱

- ・ゴミ箱は原則、ふたがついていて密閉できるものを用いる。

6. 換気

- ・一定時間(概ね1時間程度)が経過したら休憩を入れ、会場内の換気を行うように努める。

7. 事後フォロー

- ・収集した個人情報、目的達成のために利用し、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除き、他に利用及び提供することがない旨を明記する。
- ・参加者リストは、県の関係条例等に準じて管理するものとする。

※1. 2020年5月20日 Ver. 1.0「新型コロナウイルス感染症に係る沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」を基に作成

※2. 国や県の指針・マニュアル等に基づき、環境管理・参加定員等については最新のものと対応